

愛労連

愛知県労働組合総連合
名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
URL <http://www.aioren.gr.jp>
発行人 吉良多喜夫
第198号 2010年1月10日

愛労連第42回臨時大会

■とき 1月24日(日)
9:30受付 10:00開会
■ところ 蒲郡市勤労福祉会館
今年もよろしくお願ひします

新春 座談会 核兵器のない世界を 核廃絶の願いと署名をニューヨークに届けよう



愛高教西三支部
菅野 瑞己さん



2005年に開かれたNPT再検討会議のときにニューヨークでデモ行進をする日本の代表団。翌日の新聞では各紙が1面で報道



自治労連名古屋市職労
松井 陽佑さん

核兵器廃絶と平和への思い ニューヨークで伝えたい

オバマ米大統領が昨年、「核兵器のない世界」を国家目標にすると宣言し、核廃絶の世論に拍車がかかります。今年5月には、5年に一度の核不拡散条約(NPT)再検討会議がニューヨークで開かれますが、このNPT再検討会議に「核兵器のない世界」の署名を提出するため、日本からも多数の代表がニューヨーク入りします。愛知からは昨年末段階で84名の参加が確定し、最終的には100名を超える見通しです。すでに参加を決めている4名の仲間に愛労連の吉良事務局長が話を聞きました。

世界の「核兵器なくせ」の世論が 国際政治を大きく動かしている

●菅野 国語の高校教員をしています。生徒たちには、修学旅行で広島に行ったり、原民喜(広島で被爆した小説家の作品を読ませたり、その生涯を伝えたりするなかで核兵器の問題や平和の大切さを考えてもらおうとしてきました。自分自身ももっと学びたいと

●新実 屋市職労から「行かないか」と声がかかる、行動を起こしていくきっかけになればと参加することを決めました。

●吉良 T再検討会議に行こうと思った動機やきっかけは何だったんでしょうか。

●松井 原水爆禁止世界大会に参加して、核兵器廃絶のために何かできないかと思っていたのですが、名古

●二浦 思うのですが、大変忙しい職場の中で、なかなか時間がとれずにいたのですが、思い切って自分の身をアメリカに放り込んでしまえ

●新実 会に参加して、核兵器廃絶のためには何ができるかと想っていたのですが、名古屋市職労から「行かないか」と声がかかる、行動を起こしていくきっかけになればと参加することを決めました。

●吉良 私はこれまでに原水爆禁止世界大会に3回参

●二浦 私は子どもの頃から母親に戦争体験を聞かされて育ったのですが、平和の問題は私自身の中で根っこにあるものです。中学校の教員をしていましたが、平和の大切さを語って

●吉良 退職して年金者組合で活動するようになりますが、社会保障問題や楽しみの活動は熱心な

●二浦 が、平和の大切さを語っていました。退職して時間がたくさんできたので、先日は平和大会に行きましたが、元気なうちにいろいろなところに参加したい

●吉良 ありました。退職して年金者組合で活動するようになりますが、社会保障問題や楽しみの活動は熱心な

●吉良 あります。また、教え子たちにもよびかけて、折りづるを頼んでいます。退職して時間がたくさんできたので、先日は平和大会に行きましたが、元気なうちにいろいろなところに参加したい



JMIU愛知支部
新実 紀子さん

●吉良 和をめぐる状況について感じていることや思うことは抑えとして必要という意

●松井 世界には核兵器は抑止力として必要という意

●新実 ありますか。

●吉良 今日の核兵器や平和の大切さを考えてもらおうとしてきました。自分自身ももっと学びたいと

●吉良 あります。また、教え子たちにもよびかけて、折りづるを頼んでいます。退職して時間がたくさんできたので、先日は平和大会に行きましたが、元気なうちにいろいろなところに参加したい

●吉良 あります。また、教え子たちにもよびかけて、折りづるを頼んでいます。退職して時間がたくさんできたので、先日は平和大会に行きましたが、元気なうちにいろいろなところに参加したい

●吉良 あります。また、教え子たちにもよびかけて、折りづるを頼んでいます。退職して時間がたくさんできたので、先日は平和大会に行きましたが、元気なうちにいろいろなところに参加したい

●吉良 あります。また、教え子たちにもよびかけて、折りづるを頼んでいます。退職して時間がたくさんできたので、先日は平和大会に行きましたが、元気なうちにいろいろなところに参加したい



明けましておめく押しすすめで行くべきでとうございます。皆様はどの様な年末年始を送られましたか。今年の初夢はいかがでしたか▼2月12日から冬季オリンピックが始まります。スピードスケートの15歳の高木選手をはじめとして若い力が目立っています。岡崎選手のようベテラン選手も頑張っていますが世代交代です。フィギアスケートでは、代表選手の4人が愛知県内の出身者です。厳しい毎日の練習、プレッシャーにも打ち勝つて手に入れた切符。楽しみです。何事にもトライしている姿に感動です

●新実 私が平和運動に飛ぶべきだと思っています。しかし、自分に何がで

●吉良 あります。また、教え子たちにもよびかけて、折りづるを頼んでいます。退職して時間がたくさんできたので、先日は平和大会に行きましたが、元気なうちにいろいろなところに参加したい

たくさんの署名を持ち込み、ニューヨークでデモをしたことを新聞各社が一齊に報じています。

に1面で報道し、アメリカの世論を大きく動かし、国連での議論を後押ししています。

たのも聞きました。小さなことでも積み上げるとすごい力ですよね。

「核兵器のない世界を」署名をひろげ 3・1ビキニデーを成功させよう



年金者組合岡崎支部
三浦 照代さん

吉良 NPT再検討会議まであと4ヶ月ですが、会議に向けての思いや決意を最後にお聞かせください。

●松井 参加を決めてから時間がたっていないので、まだ何もできていないのですが、まずはしっかりと勉強します。

●菅野 三浦さんが署名の持つ力についてお話しします。

さいましたが、組合の中で

もなかなか署名がひろがらない状況があります。こう

いうことをもっと語りなが

らとりくみをひろげていか

ないといけないですね。

それから原民喜のことを学んだあとに感想文で多くの生徒たちが、「語り継いでいかなければならぬ」と書いてくれました。生徒たちのそういうまっすぐな思いも育んでいきたいですね。



愛労連事務局長
吉良多喜夫

めることはあまり得意ではないのですが、自分にできることはこれだと思うので、ピースチャレンジャーに登録してまずは100筆を目指します。

●吉良 今日はみなさんありがとうございました。今回のNPT再検討会議は人類的な転換点の中で開かれる会議になるのだと思いま

す。それからアメリカ現地の人たちと少しでも話ができるればと思うので、英語の勉強もがんばらないといけないですね。

●三浦 岡崎でも6・9行

議会の権限を制限して市長の独裁を強めようとしています。これは民主主義を破壊するもので絶対に許せません。

しかし危機の本質はア

ですが訴えて、核兵器廃絶の願いを署名や折りづるという形でニューヨークに届けたいと思います。

●吉良 12月22日、名古屋市議会は河村市長提案の市民税「減税」を再議決・可決しました。民主党議員は最初から市長のいいなり。公明

党は「3割(45億円)」がたった4%の高額納税者へ、「ミニフェスト」と違いすぎ

る」(市議団ニユース)と批判しましたが、自公の「修正案」では均等割の変更だけで、金持ち減税も大企業減税も市長案と変わりませんでした。結局、再議決では賛成にまわりました。トヨタの名誉会長など金持ちは賛成にまわりました。ト

河村市長はマスコミで「役所にたまつたウミを出します。しかし賃金を減らし続けたことによる消費の冷え込みが不況の根本原因です。賃下げはさらになら



市民犠牲許すな連絡会の集会とデモ行進 (12/9)

民主主義破壊は 小沢流

市長は市会議員定数の半減などの条例も提案。行政のチェックが議会の役割ですが、これまで自公「オール与党」でチェック機能を果たしてこなかったことを逆手に議会の権限縮小を狙っています。市会議員の小選挙区制も口にしており、市長独裁につながりかねません。これは、議会と首長の一元性を定める憲法に反するものです。

民主党は通常国会で、「解釈改憲」につながる「官僚答弁禁止」を提案するといいます。議会審議を骨抜きにし民主主義を破壊する点では民主党の小沢幹事長と河村市長は同じです。

貧困と格差なくし、景気回復へ チャンスをいかして元気な春闘を



議長 横松 佐一

「何が起きるかわからな
い」激動の時代です。

世界中で「貧困と格差」
の拡大に対する反撃が始まっています。「利益第一主義」の「構造改革」を推し進め、

不況と税収不足により

賃上げが当たり前の世論をつくろう

の深刻さが名古屋では河

村市長の暴走を許し、

「何が起きるかわからな

い」状況を生んでいます。

9月には国民に痛みを

押しつけた悪政に対する

怒りと、私達の運動が結

びついて自公政権を退場

に追い込みました。代わ

りて登場した民主党政権

は高校授業料無償化や生

活保護母子加算復活など

で一定前向きな政策を出

ます。

の労働者、住民の暮らしを守る愛労連運動を大きく広げましょう。

9月には国民に痛みを

超しました。今年も全て

の労働相談は2000件を

超しました。今年も全て

の労働者、住民の暮らしを守る愛労連運動を大きく広げましょう。

9月には国民に痛みを

超しました。今年も全て

の労働相談は2000件を

超しました。今年も全て

の労働者、住民の暮らしを守る愛労連運動を大きく広げましょう。

9月には国民に痛みを

超しました。今年も全て

の労働相談は2000件を

超



Topics

12/12

全労連東海・北陸ブロックが総会を開催。新しく議長に愛労連から樺松議長、事務局長には福田副議長が留任



12/19

若手役員を対象に愛労連労働組合役職員セミナーが開講。労働組合運動の基礎理論を7ヶ月かけて学びます



1/6

愛労連が2010年新春旗開きを開催。2010春闘を元気にたたかう決意を固めあった



1/9

県立広島大の都留民子さんと一橋大学院の渡辺治さんを招いた愛労連・春闘共闘新春大学習会には167人が参加

みんなのとりくみ お寄せください

単産・単組や地域でのとりくみを写真（デジタルでも可）と簡単な文書でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。

詳しくは…

TEL 052-871-5433(竹内)まで
E-mail post@airoren.gr.jp

「最低生計費」調査 1000人規模で

生活実態
手持ち材
調査



愛労連は1/7にミッドランドスクエア前、1/11に刈谷駅で新春宣伝を実施

「賃上げ要求の根拠」に確信をもつたために

なぜこの「調査」が
いま必要か

「最低生計費調査」は、い
わば私たちが生活するうえ
で「いくら必要なか」を
明らかにする調査です。

いま、公務・民間を問わ
ず、猛烈な賃金切り下げが
進み、日本の経済も「デフ
レ」が進行、小売業の倒産
など、深刻な事態が拡大し

ています。この悪循環を断
ちきるには「賃金引き上げ」
「雇用の安定化」が不可欠

です。労働者の購買力を向
上させることができ、経済を安
定させるのです。

この立場から今春闘では
「賃上げは当然」という世
論を大きく広げていく、そ
の運動と要求の根拠を「最
低生計費調査」によって、
明らかにしていきます。

「手持ち材」調査を
もとに価格を明示

「最低生計費調査」は、愛
労連として1000人を対
象にし、データの精度をよ
り高めるため多くの組合員
の協力を求めています。

調査は「生活実態」と
「手持ち材（自分の家にあ
るすべての生活財）」を記入

してもらい、全体の7割以
上の人があもっている「手持
ち材」の価格を「量販店」
などで調べ、最低生計費を

算出します。

こうした調査は、すでに
全労連がとりくみ、首都圏
と東北で実施されました。

結果はいずれも、20代・30
代の単身者の生活には、時
給換算で「1300円以上」

が必要という結果になっ
ています。

上の人があもっている「手持
ち材」の価格を「量販店」
などで調べ、最低生計費を

算出します。

最低生計費調査活動の流れ

①1月～2月 職場で議論を

単産・単組・支部段階で、なぜ「調査」を実施するのか、その「必要性」を議論します。

②2月～3月 対象者に調査票を渡す

単産・単組・支部役員が調査の方法について意思統一し、職場で調査の意義についてよく議論をおこないます。2月中旬、3月中旬の2回にわたって調査協力者を集約し、調査票を回収封筒とともに渡します。

③4月～5月 調査票を回収する

4月以降、調査票を回収します。封筒ごと回収し、そのまま単産・単組であつめ愛労連に送付します。

④5月以降 愛労連で集計→クロス集計へ

集計作業は愛労連であこないます。単純集計したデータを金澤誠一教授（佛教大学）にお願いし、クロス集計をおこなってもらいます。このデータをもとに「最低生計費」を明らかにし、活用ていきます。

最高・生保・年金
引き上げの根拠も

調査結果から得られたデータは、官民の賃金闘争、最低賃金引き上げや生活保護、年金の引き上げの根拠として活用できます。

年収200万円以下の労働者が1067万人に達し、非正規労働者と低賃金が急増しています。

労働者が「健康で文化的

な生活」を営むことができる「賃金水準」を要求する

ことがいまこそ重要になっています。労働者の賃上げと雇用の安定は消費を拡大

し、ひいては内需拡大へとつながります。

賃金引き上げのたたかいは、「悪循環」に歯止めをかけるだけでなく、不況打開と経済を活性化するという大義ある運動で「生計費調査」は、その第一歩です。



2010新年組合挨拶 高木徹

講師は、全労連とともに首都圏や東北地域での「生計費調査」にとりくんでいます。労働会館で学習会を行います。

愛労連は「生計費調査」を成功させるために、1月19日(火)午後6時30分から労働会館で学習会を行います。

講師は、全労連とともに首都圏や東北地域での「生計費調査」にとりくんでいます。労働会館で学習会を行います。

新年あけましておめでとうございます。

愛労連の組合員のみなさん、支援団体のみなさん、争議をたたかう仲間へのあたたかいご支援ありがとうございます。

昨年からの非正規・派遣労働者の雇い止め、解雇の嵐は止まることなく、製造分野だけではなく非製造業も含め、失業者を大量につくりだしてきました。解雇の波は正規労働者の分野における失業者増加へとひろがり、雇用情勢を悪化させてい

ます。

大企業労組が職場における労働者の雇用確保のたたかいを放棄し、企業の横暴な労働管理と職場の専制支配を野放ししたことで失業者を増大させていると言つても過言ではありません。

こうした情勢のもとで職を失い、生活の糧を断たれ、生きる展望すら奪われた労働者が立ち上がり、反貧困のたたかいや闘争や企業への雇用要求、行政に対する要請や

いま、愛知の各地で非正規・派遣労働者の裁判討議を始めます。そのため、労組・支援団体・弁護団・当事者と申入れ、互いの裁判への傍聴協力、勝利判決獲

